



見てごしない、桜と蛍の舞う町 南部町

広報

なんぶ

2020
12
No.195

【今月の表紙】

西伯小学校の休憩時間。子ども達は
各々の楽しみ方で過ごしていて、たく
さんの笑い声が響いていました。

特集

未来を切り拓くひとづくり

～子どもがいきいき育つ環境を目指して～

【今月の主な内容】

- 祐生出会いの館 25周年
- 肺がん検診を受けよう！
- まちの話題

南部町戦没者献花式を開催／町内32カ所に想定浸水深表示板を設置
星宙観察会を開催／なんぶ里山チャレンジラン



広報なんぶの最新号や
バックナンバーは
南部町ホームページで！

ふる里を愛し、志高く 南部町から未来を切り拓くひとづくり ～自立・共生・参画～

町では、教育の目指す方向を明確にするため、平成30年度に「南部町教育振興基本計画（第二期）」を策定しました。

その中で掲げる町の教育理念は「ふるさとを愛し、志高く、南部町から未来を切り拓くひとづくり」自立・共生・参画」です。

この自立・共生・参画をキーワードに、学校教育、社会教育を通じたひとづくりに取り組んでいます。地域との協働により、子どもがいいきと育つ教育環境の創造に努め、住民が生涯にわたって学び続け、学びがまちづくりや地域づくりと循環する「南部町の教育」を目指しています。

今月は、町内5つの小中学校を特集します。各学校が自立・共生・参画をキーワードに取り組んでいる様子を紹介します。



法勝寺中学校



▲新旧生徒会長・副会長が中心となりました。

この学校祭は、新型コロナウイルスの影響で体育祭・文化祭は中止となりました。コロナ禍でもできることを考え、10月に新たな試みとして「学校祭」を開催しました。体育の部・文化の部2日間にあわせた開催したこの学校祭では、安心安全に行うために内容をゼロから考え直しました。

例えば、文化の部では密を避けるために、体育館に入る人数制限を設けました。出演する生徒以外は教室で中継しました。制限のため来られなかった家族もリモートで見ることができるよう工夫をしました。

生徒会では、「一人がみんな、みんなが一人のために、誰もが楽しいと思える学校」を目指して、より良い学校にしていきたいと語ってくれました。前会長の勝田敦也さんは「最後までやり遂げるには先生方やメンバーの支えがありました。生徒会活動を通して自分から主体的に行動しないと変化はないと学んだので、高校生、社会人になっても大切にしたいです。」とこれまでの活動を振り返り、語ってくれました。

生まれ変わる学校行事

新型コロナウイルスの影響で体育祭・文化祭は中止となりました。

この学校祭

は、生徒会が中心となって取り組みました。3年生から2年生へメンバーが変わる時期で、新旧生徒会が一緒に一つの行事に取り組む新たな試みでした。



▲合唱では、フェイスシールドを着用しました

南部中学校

かけがえのない中学校生活の思い出を

3年生校外学習 in 緑水園



▲先生と生徒と一緒に考えた、即興演劇大会

南部中学校では、どの行事でも自律と

新型コロナウイルスの影響で、町内小中学校は、例年通りの修学旅行ができませんでした。

コロナ禍にあっても中学校生活の思い出づくりのできることを考え、3つのグループに分かれて町内の名跡を巡ったり、生徒が自分たちで考えた企画を行う1泊2日の校外学習を行いました。生徒たちは、「自分たちで企画を考えたり友達と時間を共有したりしたことが大切な経験になりました。」との感想がありました。3年間を共に過ごした仲間との思い出づくりができた2日間となりました。



◀グループに分かれて町内の名跡を巡りました



▲実行委員の7名

共生の精神を持って取り組んでおり、この校外学習は、7名の生徒が実行委員となり企画運営を行いました。

みんなが笑顔で楽しめる校外学習になるように、どうやったら安全にできるのか、自分たちでルールを考えて準備に取り組んだ、生徒発信の行事となりました。生徒からは、「自分たちで企画を考えたり友達と時間を共有したりしたことが大切な経験になりました。」との感想がありました。3年間を共に過ごした仲間との思い出づくりができた2日間となりました。

児童目線で取り組む ～あたりまえを徹底～運営委員会

会見小学校では、あいさつや生活態度など、当たり前のことを当たり前に行っている児童が自主的に考えて実行する、「あたりまえ運動」に取り組んでいます。

その中心となっているのが、運営委員会のメンバー8人です。今回は、6年生として委員会のメンバーをまとめる、委員長の三原彩音さん、副委員長の石川結愛さん、書記の永江蘭音さんに活動についての話を伺いました。

運営委員会では、みんなが学校で生活しやすくなることを考えて活動を行っています。全員が忘れずに名札を持ってくるよう毎朝確認を行う「名札100%運動」や、廊下歩行のマナーを守る声掛けなど、自分たちが送る学校生活の中で課題だと感じることを取り上げて、改善方法を考え実践してきました。

声掛けの甲斐があったため、名札は昨年度に比べて100%の日が格段に増えました。一方で、廊下を走る人が減らない状況があったため、走る人が多いうちに「ゆっくり」や「歩こう」という文字をテープで表示することに注意を呼び掛けています。

委員会の目標は「全校が仲良く、当たり前前に行っていることができるように」です。委員長の三原さんは、「目標達成はまだ半分くらいです。今後は全校児童がもっと仲良くなれるような企画を作りたいと思っています。名札100%運動や廊下歩行はこれからも続けていきたいです。」と語ってくれました。



教室前廊下に貼られた「とまれ」の文字。見やすいように赤色のテープを使用するなど工夫しました。

▲毎朝名札を持ってきているか確認し、結果を掲示しています。昨年度は年間で4回だった100%が、今年度はすでに20回を超えています。



性の多様性から「じぶん」について考える 多様なテーマで学ぶ人権学習

西伯小学校では、6年間の学校生活を通じて学ぶ人権学習に力を入れています。現在は、学年ごとに高齢者、障がい者、同和問題などそれぞれのテーマを学んでいます。そして、6年間の集大成として自分たちで選んだテーマについて調べ、人権フォーラムで実践発表を行っています。

学習内容もその時々に合わせて見直しを行っており、性的マイノリティの学習もいち早く取り入れられました。

10月23日、5年生のクラスでは、にじいろiRu(アイル)の田中一歩さんと近藤孝子さんをゲストティーチャーに招いた授業が行われました。お2人は、性的マイノリティとされる子ども達、すべての子ども達に『じぶん、まる』を届けるため、全国で講演などの活動をされています。田中さんが24歳まで女性として生活しながら感じていたことや、いろんな人との出会いの中で感じてきた「性の多様性」についてお話をされました。

「体の形・特徴・ルーツ・表現・髪型・家族…」

※性的マイノリティ：同性に恋愛感情を持つ人や、自分の性に違和感がある人などのこと。

西伯小学校



田中一歩さん(左)と近藤孝子さん(右)による授業の様子。

「変だよ』『おかしだよ』なんて言われていい人は一人もいないんだよ。」「その時その時で、自分が思っていることを大切に。」と語りかけられたお2人の話に真剣に聞き入っていました。

授業の後、児童は「女性の体で生まれてきたけど、心は男性という方に初めて出会いました。個性を大切に生きていきたいです。」と感想を話していました。

会見第二小学校

「ハッピー・アイデアタイムと地域」 小規模だからできること

会見第二小学校は児童数17名の小規模校です。

児童の主体性を育てることを学校の重点とし、児童数が少ないからこそ取り組めることを実施してきました。

平成31年4月に、週に一回の「ハッピー・アイデアタイム」を創設しました。これは、児童が主体的に活動する場として作られた時間で、全学年が集まってどんな活動をするか話し合う「計画」、そして「実践」、「振り返り」の一連の流れで取り組んでいます。これまで、このハッピー・アイデアタイムの時間を使って、地域の公民館清掃や、学校を良くするためのポスター作りなどを行ってきました。



▲カローリングの後は、地域の方と一緒に、プランターに花を植えました。

もう一つの特徴は、地域とのつながりです。校区である池野・鶴田集落の住民による「二小の子どもを育てる会」が平成15年から組織されています。山菜採りやそばづくりなど、多くの学校行事に参加して児童たちと交流し支援しています。そばづくりでは、種まきから収穫、そば打ちまでを一緒に行いました。

二小の子どもを育てる会の雑賀藤重さんは「人数の少ない学校だけど、1年生から6年生までみんなが一緒に活動しています。いろいろなことを経験して育ってほしいです。」と語ってくださいました。10月のハッピー・アイデアタイムでは、カローリングを企画し、二小の子どもを育てる会や地域の5名の方が一緒に楽しみました。子どもたちは「いろんな人と交流できて嬉しい。」と交流を楽しんでいました。



▲地域の方と一緒に楽しんだカローリングの様子。チーム対抗で勝負しました。

祐生出会いの館 開館25周年

平成7年に開館以来、多くの来館者を迎える祐生出会いの館。板祐生の魅力を最大限に引き出すスタッフを代表して、中尾慶治郎副館長にお話を伺いました。



—祐生出会いの館の展示は、すべて手作り—

特別展の企画から展示まで、すべて職員が手作業で行っています。年間15回の展示入れ替えと図録作りを行っており、来館の度に違う展示を見ることができません。展示ごとに掲示される「展示のご挨拶」は、中尾副館長がまごころこめて手書きで書かれており、手作りのこだわりの一つです。

—これからの祐生出会いの館が目指すもの—

祐生は孔版画を芸術の領域にまで高めた先駆者として有名な人物ですが、郷土玩具などを約4万点蒐集したコレクターとしての顔を持ちます。祐生が残した記録からは、物集めが最大の関心であったことが分かってきました。

祐生出会いの館では、昨年から蒐集物の図録作りに着手しました。「後世の人たちの参考に」という祐生の思いを受け継ぎ、たくさんの方に使っていただけ、楽しんでもらえる内容を目指しています。年間の企画展全てが人目に触れるように、新聞の文化欄に投稿したり、ラジオやテレビでPRしてきました。努力の甲斐あって、今年は例年に比べ多くの来館者があります。これからも、通りますぐりにふらりと寄ってもらえる施設となるよう、より一層の充実を目指します。

平成23年度から、祐生出会いの館に勤務する中尾副館長。もともとは板祐生とは縁がなかった中尾副館長ですが、今ではその魅力に引き込まれています。「なぜこの人のために記念館が出来ているのか？」その答えは、調べれば調べるほど分かってきたといえます。

—スタッフから見た、板祐生の魅力とは—

祐生は、芸術の一流から道楽の一流まで、全国の幅広い一流の方と付き合ってきました。この人付き合いによってたくさんのお物を蒐集します。多くの人の好意を受けた分、相手に対して感謝の念を持って接する情の厚さを感じられます。人と人との繋がりを大事にした、温かい人物であったことが随所に感じられます。

浅井地区の伝統行事「魚とり」が県無形民俗文化財に指定されました



南部町浅井に伝わる伝統行事「魚とり」が今年5月、鳥取県の無形民俗文化財に「ため池における魚伏籠（ウグイ）漁」として鳥取市気高町とともに指定されました。この「魚伏籠漁」は「ウグイ」とよばれる底のない筒状の籠を、池にかぶせ、中に入った魚を捕る昔ながらの漁法です。もともと、田んぼに引く水をためるため池の泥流しとして町内各所で行われていましたが、現在残っているのは浅井区だけです。また、気高町の「ウグイ」と比較して浅井の「ウグイ」は軽くて丈夫な作りとなっていて、片手で持ち上げ、魚を狙って突くことができます。かつては氏神である賀茂神社の秋祭の前日に行われ、娯楽を兼ねた行事とされてきました。

10月11日、浅井区の青木池で「魚とり」がありました。農業の集約化や合理化、機械化によって水田稲作に関わる様々な生業が失われたなかで、この「魚とり」は希少な民俗技術です。これからも継承してもらいたい地域の大切な伝統行事です。

遺族らが戦没者を追悼

南部町戦没者献花式を開催



◀ 祭壇に献花する参列者

10月8日（木）、富有まんてんホールで令和2年度南部町戦没者献花式が開催され、遺族会など19名の方が参列し、戦没者の冥福を祈りました。

陶山町長は、「悲しい歴史を風化させることなく後世に伝え、希望に満ちた社会を築くことに全力を尽くしていきます。」と追悼の辞を述べました。

参列者が壇上に設けられた献花台に向かい白い菊の花を手向けて追悼したのち、遺族代表として、板持秀さんが「会員も高齢化しており、体験を語れる人が少なくなってきました。平和で、安心安全なまちづくりに協力していくことを誓います。」と謝辞を述べられました。

防災ハザードマップを見える化

町内32カ所に想定浸水深表示板を設置



◀ 庁舎に掲示する様子

11月5日（木）、南部町想定浸水深表示板設置式が行われました。町では、これまで防災ハザードマップを作成してきましたが、地図では具体的な浸水の深さが分かりにくいため、町内の各所に想定浸水深表示板を設置することでハザードマップの「見える化」が期待されます。この想定浸水深表示板の設置は、鳥取市に次いで県内2例目です。

設置にあたっては鳥取県県土整備局の支援を受けており、設置式では鳥取県西部総合事務所米子県土整備局の田村満男局長が「町民の皆様に浸水の確認と実感を持っていただき、早期の避難行動に繋がれば幸いです。」と話されました。

星空の下で宇宙旅行

星宙観察会を開催



◀ 望遠鏡で火星を覗きます

11月7日（土）、満天の星空が望める緑水湖オートキャンプ場で、解説付きの星空ウォッチングや「Mitaka」を用いた疑似宇宙旅行体験の上映を行う星宙観察会を開催しました。疑似宇宙旅行体験では、スクリーンの中で宇宙の最果ての世界を体験し、参加者からは歓声が上がっていました。

岡山県からキャンプに来られた女性は、「肉眼で見える星と望遠鏡を通して見える星は色や見え方が違って驚きました。星取県というだけあって、たくさんの星が見れてよかったです。」と話されていました。

里山景色をランニングで満喫

なんぶ里山チャレンジラン



◀ 町内の名所を駆け巡ります

11月8日（日）、里山景色を楽しみながら町内を走る、なんぶ里山チャレンジランが開催されました。女性8名を含む67名のランナーが参加し、客神社、母塚山山頂、赤猪岩神社など町の名所を通る全長18kmのコースを走り、写真撮影をしながらタイムを競いました。

1位は、米子市から参加された中村隆治さんで、タイムは1時間30分でした。中村さんは、「コロナの影響で大会がなくなっており、久しぶりの大会でした。南部町の里山景色を走って気持ちがよかったです。」と話されました。

あいみ手間山

地域振興協議会

～手間要害山自然観察会を開催～

▶解説する桐原自然観察指導員



10月25日、手間要害山を登山しながら自然を楽しむ、自然観察会が行われました。手間要害山は、寺内地区の北側に位置する標高329mの山で、大国主命と八十神の赤猪神話の舞台とされる古事記ゆかりの地です。当日は自然観察指導員の桐原真希さんによる植物の解説を聞きながら、42名の参加者が頂上まで登山しました。

この自然観察会は毎年実施される企画ですが、今年は秋に開催したことで、例年とは違う姿を見せる植物が参加者を楽しませていました。道中には、チゴユリ、自然薯、キリンソウなどの日本固有種が多く植生しており、参加者の質問に一つ一つ桐原自然観察員が解説をされました。企画をした地域づくり部の唯浩光部長は、「すぐ近くにある山でも、普段なかなか登ることがないので、きつかけ作りができてよかった。身近に感じていただければ。」と話されました。愛媛県から南部町にやってきましたばかりという参加者の方もあられ、「見たことがない植物がたくさんあって新鮮でした。人生初の登山ができてよかったです。」という声が聞かれました。

大国

地域振興協議会

～恵みの秋！まめなかや畑収穫祭～

▶大きな芋が掘れました



10月25日、大国田園スクエア前にあるまめなかや畑で、収穫祭が行われました。まめなかや畑では、さつま芋の苗植え、草取り、掘り出しなどの農作業が行われます。地域の親睦を図ることや、子どもたちの農業体験となることを目的として9年前から取り組んできました。

役員だけでなく、育成会や尚寿会（老人会）といった地域の団体とも連携して行っています。3歳から85歳と、幅広い年齢の72名の方が参加し、農業体験を通じた世代間交流が生まれました。参加者は、「晴天に恵まれ、絶好の芋掘り日でした。土が硬くて、掘り出すのに苦労しただけ掘れた時は感激しました。この畑の紅はるかには味が良いとの評判なので、食べるのが楽しみです。」と楽しんでおられました。大国地域振興協議会の西本会長は、『まめなかや』は、子供から高齢者までみんな元気で過せる事を願って名前を付けました。今年の5月に有志の方で苗を植え、皆で収穫祭ができることを期待していました。内容は例年に比べて縮小しましたが、次年度は、盛大に収穫祭ができる事を願っています。」と話されました。

地域おこし協力隊 立元隊員のつばやき!

もうすぐ、南部町に来て3年が経ちます



立元隊員



みなさん、いつもこのコーナーは楽しんで見てくださっているでしょうか。私は今年度で協力隊としての任期が終了するのでこうして書くのも最後になります。いつも掲載されると、「広報で見たいよ!」と言ってくくださる方がいたので、どんな反応が貰えるかなと少し心配しながらも楽しみにしていました。今回も見かけたら一言掛けてくださると嬉しいです。

協力隊としての任期が終了した後私はこの町に残って白ネギを栽培していきます。ゆくゆくは人を集めて大規模にしていきたいのですが、まずは一人で生きていけるように小さなことからやっていきたいと思います。残りの期間でできるだけ準備をしていかないといけないのですが、就農のための計画作りでパソコンに向かっている

と、晴れた日は「こんなにいい天気だから外に出たいなあ。」と思ってしまう。それでも計画がないと農業はできないので、これからこの町で生活していくために頑張っていきます。応援よろしくお願いします。



NPO法人

なんぶ里山デザイン機構

Nanbu Satoyama Design Association

【問い合わせ先】 ☎21 - 1595

オンラインセミナー・移住相談会に参加しました



9月19日に(公財)ふるさと鳥取県定住機構主催の鳥取来楽暮らし(鳥取西部)で暮らしが南部町を含めた6つの市町が参加し行われました。オンラインでのセミナー・相談会は初めての参加でしたが、とても良い経験になりました。

この来楽暮らしは、日本全国の移住希望者や鳥取県出身者を対象に、鳥取県への移住を選択肢のひとつとして認識してもらい、移住することで自らの夢や希望する生活を実現させるための情報収集の場や相談できる環境を作ることを目的として行われています。

まず地域を知っていただくことを第一に、スタッフ・参加者が共に話の輪に加わって話やすい場を作り、「移住の理想と現実など、相談者へ移住に向け具体的な情報提供の幅をさらに広げられるようにしました。」

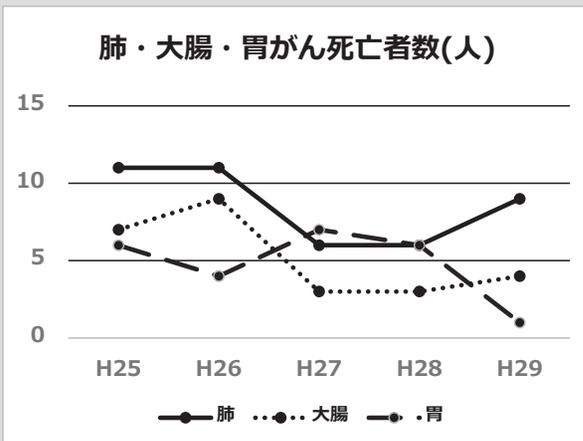
「口ナ禍を経て、移住というものが一般化してきたと感じます。一般化することなどは、多様な考え方が生まれるということなので、受け入れる側である地域の準備も必要になってきます。」

両者の想いやニーズを受け止めながら相談に対応できるよう、オンラインでの相談の場づくりをしていかなければと思っています。

オンラインでの相談は、担当者の顔を見ながら説明することもできるので、信頼感も生まれ、現地に来てもらうきっかけになるのではないかと期待しています。

肺がん検診を受けよう！

がんは生涯で2人に1人が経験する病気といわれています。南部町では毎年約40人の方が、がんで亡くなっています。その中でも亡くなる方が1番多いのは、肺がんです。



がん検診で命を守ろう

多くの場合、初期は症状が出ません。そのため、気付かないうちに病状が進行している恐れがあります。

肺がんも同様で、検診で体の様子を確認することが大切です。

新型コロナウイルス感染症に対する不安から、がん検診の受診を控えられる方もあるようです。しかし、それによりがんの発見が遅れることが心配されます。

現在、町内医療機関での検診及び集団検診は完全予約制で感染予防に配慮して実施しています。受診を希望される方は、早めに予約されることをおすすめします。

自分で自分の命を守るために、年1回検診を受診しましょう。

肺がん検診ってどんな検査？

肺がん検診は胸部レントゲン検査を行います。検査で生じる痛みもなく、短時間で済むため非常に受診しやすい検診です。放射線の被曝については、通常のレントゲン検査では、身体に影響が出ることはないといわれています。

また、タバコを吸う習慣がある方や以前タバコを吸っていた経験がある方は、必要に応じて喀痰検査を受けることができます。喀痰検査は、痰の中のがん細胞の有無を調べるもので、喫煙者がなりやすい種類の肺がんを見つけることを目的としています。

がん検診は、受けて終わりではありません。精密検査を受ける必要があると診断された方は、必ず精密検査を受けましょう。

肺がんとタバコの関係

喫煙者は非喫煙者に比べて肺がんになる危険性が高いことが知られています。

タバコの煙には70種類以上の発がん物質が含まれており、肺がん以外のがんの原因となることもわかってきています。そのため、喫煙する方だけでなく、周囲の方にも受動喫煙による影響が及びます。

タバコは依存性が高いため「自分で挑戦したが結局やめられなかった」という方も多いのではないのでしょうか。そんな方は禁煙外来へ相談してみましよう。

南部町では町内医療機関(※1)の禁煙外来を受診し、定められた治療が終了した方を対象に上限1万円の禁煙治療費の助成を行っています。

また、休日健診と同時に開催される無料禁煙相談会もありますので、是非ご利用ください。

※1 西伯病院、法勝寺内科クリニック



無料禁煙相談会のご案内 《要予約》

- 日時：
12月6日(日)
午前10時～正午
- 場所：
総合福祉センターいこい荘

【問い合わせ先】 健康福祉課 ☎66-5524

Nanbuまごころ便事業とは

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日常生活に様々な制限を受けている中、南部町出身で町外在住の学生に対し、南部町の特産品等を「Nanbuまごころ便」としてお届けし、食の支援を行う事業です。平成10年4月2日から平成14年4月1日までの間に生まれた南部町出身で、日本国内の大学、短期大学、専修（専門）学校に在学している学生を対象にしています。希望調査を実施したところ111名の学生へ送ることになりました。今年度2回発送予定です。

【第1便】11月発送

第1便には鳥取グリコ南部工場から「PREMIUM熟カレー」の提供もいただき、町の特産品9品を送りました。発送前日の箱詰め作業は、高校生サークルと青年団メンバー10名も手伝い、手書きの応援メッセージも同封しました。



1枚1枚思いを込めたメッセージを書き



詰め忘れがないようにみんなで確認！



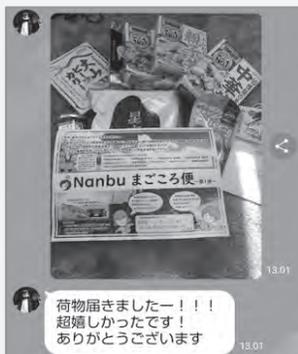
郵便局さんに手渡しました

まちづくりは人づくり Nanbuまごころ便事業にみる

【Nanbuまごころ便 第1便】

- ・PREMIUM熟カレー ・Cheeza ・大山ビーフカレー
- ・DONBURI亭(牛丼・中華丼・親子丼)
- ・星空舞(2kg) ・いちじくジャム ・赤猪岩神社絵馬

【うれしい反応】



翌日には届いた学生もあり、「南部町大好きさん寄せられています。きー」といったメッセージがSNS上でたくさん寄せられています。



南部町大好き

人づくりの仕掛け

【第2便】2月発送予定

第2便は「若者の自炊応援プロジェクト～届けようふるさとの味～」と題して、食生活改善推進員と青年団がプロジェクトチームを組んで、食材だけでなく学校給食をテーマにレシピ本を作成し、一緒に送る予定にしています。

町内の小中学校に好きな給食メニューのアンケートを取りに行ったり、レシピ本に載せる献立の栄養バランスを考えるための勉強会をしたり、知恵と力を出し合って意欲的にプロジェクトは進行しています。

★対象の方で第2便を希望される方がありましたら、12月18日（金）までに教育委員会事務局☎0859-64-3782までお問い合わせください。
※第1便に申し込みをされた方は、第2便の申込みは不要です。



小学生にアンケートのお願いをする青年団



アンケートの結果をもとにメニューを考え中



食生活改善推進員さんによる減塩食教室

食を通してふるさとを想い 食を通してふるさとに生きる 人づくり

**国民年金の任意加入ができます！**

60歳までに老齢基礎年金の受給資格期間（10年以上）を満たしていない場合や、40年の納付済期間がないため老齢基礎年金を満額受給できない場合かつ厚生年金保険・共済組合に加入していない場合は、60歳以降でも任意加入して保険料を納めることにより、満額に近づけることができます。

■任意加入できる方

- ①日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満の方
- ②受給資格期間を満たしていない65歳以上70歳未満の方
- ③外国に居住する20歳以上65歳未満の日本人の方
- ④老齢基礎年金の繰り上げ支給を受けていない方

【問い合わせ先】

米子年金事務所 ☎34-6111

町民生活課（天萬庁舎） ☎64-3781

**法勝寺図書館臨時窓口のお知らせ**

法勝寺図書館一時閉館にともない、臨時窓口を開設します。本の貸出・返却などが出来ます。ぜひご利用ください。

- 開設日** 毎週木曜日・日曜日（12月～3月）
※12月27日（日）・31日（木）、
1月3日（日）はお休みです。

■時間 午前10時～正午

■場所 プラザ西伯

■取り扱う業務

本の貸出・返却・予約本の受取り・予約の受付

■その他

100冊程度の本を持っていきます。貸出を希望される本や雑誌があればご連絡ください。

【問い合わせ先】

天萬図書館 ☎64-3791

**広報なんぶ11月号の訂正について**

17ページに掲載した「就学援助制度をご利用ください」において一部誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

（誤）市町村民税・固定資産税の非課税世帯

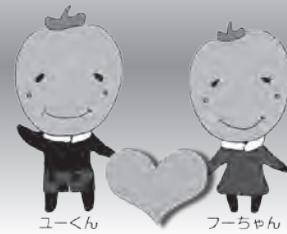
（正）市町村民税の非課税又は経済的理由等による

税・料の減免の世帯

詳しくは下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】 教育委員会事務局

総務・学校教育課 ☎64-3787

くらしの情報**お誕生おめでとう**

（氏名）	（保護者）	（住所）
塚田 陽向 ^{ひなた}	（洋治・美紀）	上中谷
田中 琉葵 ^{るい}	（裕也・希恵）	福成
朝日 心結 ^{こころ}	（朋哉・春香）	円山
福間 司 ^{つかさ}	（敬二・由美）	天萬

ご冥福をお祈りします

（氏名）	（年齢）	（住所）
板 清子	（83歳）	中
伊田 明美	（85歳）	鴨部
潮 百合子	（84歳）	天萬
遠藤 弘議	（78歳）	宮前
成田八重子	（97歳）	原
田中 守人	（52歳）	鴨部

10月16日～11月15日届出分・敬称略
※掲載は希望者のみです。

10月31日現在の人口

男	5,077人	（-3人）
女	5,546人	（-7人）
計	10,623人	（-10人）
世帯数	3,904世帯	（-4世帯）

（ ）内は前月との比較

〈12月〉納税・使用料のお知らせ

- ・固定資産税
- ・国民健康保険税
- ・給食費
- ・保育料
- ・後期高齢者医療保険料
- ・下水道使用料
- ・公営住宅使用料
- ・放課後児童クラブ

【納付期限：12月25日（金）】

i 農地利用最適化推進委員（欠員補充）が決まりました

南部町農業委員会において、農地利用最適化推進委員の欠員に伴い、令和2年11月10日付けで、賀野地区担当の委員が決定しました。任期は、令和2年11月10日から令和5年7月19日までで、担当区域が以下のとおり変更になりました。

■農地利用最適化推進委員（新任）

氏名 (在住集落)	
	野口 孝志 (鶴田)
担当 地域	高姫・金田・井上・浅井・ 御内谷・池野・鶴田

■賀野地区の担当区域が変更になりました

担当区域 (賀野地区)		氏名 (在住集落)
変更前	御内谷・縄平・ 上野・荻名・ 朝金・池野・鶴田	井田 厚美 (上野)
変更後	市山・縄平・ 上野・荻名・朝金	

i 農業者年金で老後の安心を考えませんか？

農業者年金は、農業者の方々の老後生活の安定を図ることを目的とした農業者のための年金で、積立方式・確定拠出型で、国民年金（基礎年金）に上乗せした任意加入の公的な年金制度です。年間60日以上農業に従事し、国民年金第1号被保険者（保険料免除者を除く）である20歳以上60歳未満の方なら、誰でも入れる終身年金です。

メリット1
女性に優しい

- 女性農業者の長い老後をしっかりサポートします！
- 女性農業者の老後の安心は自分で確保できます！
- 家族経営協定を結べば保険料の国庫補助も受けられ、女性の農業経営への参画を応援します！

メリット2
保険料額は自由に決められる

- 保険料額をいつでも変更でき、途中で脱退・再加入できます！
- 若年層には保険料の国庫補助による手厚い政策支援があります！
- 農業経営の状況に応じて保険料を増額して節税額をアップできます！

メリット3
税制面で大きな優遇

- 支払った保険料全額が社会保険料控除の対象です！
- 年金を受け取る時には、公的年金控除を受けることができます！
- 80歳前に亡くなられた場合は死亡一時金が支給されます。死亡一時金は非課税です！

【問い合わせ先】 農業委員会 ☎64-3792



小雑紙・布類を分別して、燃えるごみを減らそう！

南部町の一般家庭から出される可燃ごみの量は年間約1,783tで、これは一人当たり直すと年間約162kgです。可燃ごみの約57%が紙類・布類で、これを削減することで、可燃ごみの減量をすることが出来ます。小雑紙・布類を分別することで、可燃ごみの減量、クリーンセンターの延命化、地球温暖化防止につながります。ご協力をお願いします。

①小雑紙は、透明の袋に入れて、軟質プラスチック類の日に出してください。

●小雑紙とは、おおむね封筒（長3）の大きさより小さな紙のことを指します。例えば、下の絵のようなものなどです。



②布類は、布類専用のごみ袋に入れて、布類の日に各集落の資源ごみステーションへ出してください。

●布類に出せるもの：衣類類、寝具類、タオル類、座布団、じゅうたん

※布団など指定袋に入らない場合は、布団1枚（座布団は5枚まで）につき1枚の指定袋を付けて出してください。

※ボタン、ファスナーを外す必要はありません。

※じゅうたん、カーペットは折り畳むか、もしくは長さが2m以内になるように丸めて、1枚の指定袋を付けてください。（切る必要はありません。）

※濡れるとリサイクル出来ませんので、指定袋に入らないものは雨天時の搬出はご遠慮ください。

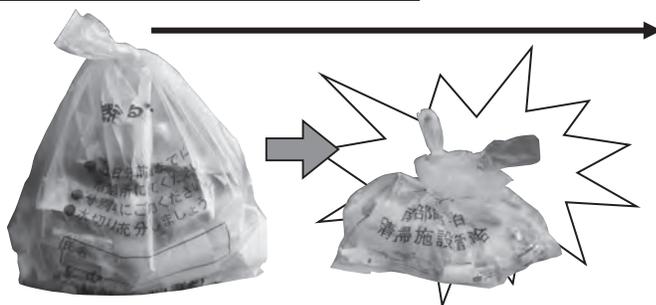
※汚れ、臭いがきついものは可燃ごみに出してください。



《分別するとこんなに“やさしい”》

- ①家計にやさしい……可燃ごみ袋の使用枚数が減り、家計にやさしいです。
- ②焼却炉にやさしい……クリーンセンターの焼却炉の負担を軽減出来ます。
- ③地球にやさしい……リサイクルすることで、CO2の発生抑制になり、地球環境の負担を減らします。

分別にチャレンジ！



たくさん入っていたごみ袋が「分別」でこんなに小さく！

中から出てきたのはこんなもの。



「小雑紙」・「布類」は、分別することで廃棄物固形燃料（RPF）に生まれ変わります！
分別収集にご協力をお願いします！

【問い合わせ先】 町民生活課（法勝寺庁舎） ☎66-3114



林業退職金共済制度 (林退共) について

林退共は昭和57年に発足した林業界で働く方のために国が作った退職金制度です。

この制度は、事業主の方々が、従事者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払うという、いわば林業界全体の退職金制度です。

○掛金は、税法上について、法人では損金、個人企業では必要経費となります。

○掛金の一部を国が免除します。

○雇用事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

■事業主の皆様へ

- ・共済証紙は労働日数に応じて適正に貼付してください。
- ・共済手帳を所持している従事者が林業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導してください。

詳しいことは、最寄りの支部または本部へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

独立行政法人勤労者退職者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部

☎03-6731-2889



連合全国一斉集中労働相談 ホットラインを開設します

安心して働いていますか？

連合は「なんでも労働相談ダイヤル」を開設し、雇用形態にかかわらず、働くみなさんのトラブルや心配事の解決に向け、相談員が秘密厳守でお答えします。

お気軽にご相談ください。

■実施期間

12月8日(火)～9日(水) 午前10時～午後7時

■相談番号 0120-154-052

※携帯電話からもOKです。

※上記以外にも通年的にフリーダイヤルで相談を受け付けています。

【問い合わせ先】

連合鳥取 ☎0857-26-6605



住民票記載のご案内 —「夫(未届)」、「妻(未届)」

現在、事実婚など実質婚姻状態にある方で、以下の①～③の要件を満たす方は、住民票の世帯主との続柄欄に「夫(未届)」、「妻(未届)」の記載ができます。希望される場合は、以下の≪登録に必要なもの≫をご持参のうえ、町民生活課へお越しください。

■申請できる方

以下の①～③の要件をすべて満たす方

①現在、婚姻状態にない方

②18歳以上の男性、16歳以上の女性の方

③再婚禁止期間(※)でない方(女性の場合)

※女性が前婚の解消又は取り消しの日から起算して、再婚することのできない100日間の婚姻届不受理期間

■登録に必要なもの

本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカード等)印鑑

■受付場所 町民生活課(法勝寺庁舎または天萬庁舎)

※原則、申請される方とお相手の方揃ってのご来庁をお願いします。お二人揃ってのご来庁が難しい場合は、町民生活課までご相談ください。

【問い合わせ先】

町民生活課(法勝寺庁舎) ☎66-3114

南部町人事異動

()内は旧所属

○異動 (令和2年11月1日付)

【総務課】

課長補佐 桑名 俊成(健康福祉課)

【健康福祉課】

主幹 田子 将(人権・社会教育課)

【人権・社会教育課】

主幹 小林 公葉(西伯病院)

【西伯病院】

主幹 矢田貝 明弘(健康福祉課)

○退職 (令和2年10月31日付)

加藤 潤(総務課)

まちの行事

12月11日～1月10日

☎健康管理センターすこやか ☎66 - 5524

	場所	日時	内容
米やカフェ	えん処米や	12月15日(火)9:30～11:30 ※参加費100円(茶代)	介護にかかわる方々のほか、どなたでも参加できる「認知症カフェ」
認知症の方の家族のつどい	健康管理センター すこやか	12月18日(金)10:00～12:00 ※参加費100円(茶代)	認知症の方を介護している家族が日頃の思いを話し合う場
さくらカフェあいみ	てま里	12月24日(木)13:30～15:30 ※参加費100円(茶代)	介護にかかわる方々のほか、どなたでも参加できる「認知症カフェ」

◆相談

	場所	日時	内容・問い合わせ先
多重債務・法律相談会	米子コンベンションセンター 5階第5会議室	12月13日(日) 13:30～15:00	多重債務やヤミ金融等 【事前予約先】西部消費生活相談室 ☎34 - 2648《受付時間》8:30～17:00
心の健康相談会	健康管理センターすこやか	12月15日(火) 午後から※要予約	臨床心理士があなたのお悩みを伺います。 健康福祉課 ☎66 - 5524
行政書士無料相談会	天萬庁舎 3階会議室A	12月16日(水) 10:00～13:00	相続・遺言・成年後見等 天萬図書館 ☎64 - 3791
消費生活相談	天萬庁舎 1階	12月18日(金) 13:00～16:00	訪問販売、インターネットなどのトラブル 町民生活課 ☎64 - 3781
人権相談・行政相談	総合福祉センターしあわせ	1月6日(水) 9:00～11:30	人権相談：人権・社会教育課 ☎64 - 3782 行政相談：総務課 ☎66 - 3112

◆イベントなど

	場所	日時	問い合わせ先
製本サークル	プラザ西伯	12月12日(土)9:30～12:00	天萬図書館 ☎64 - 3791
点字サークル	天萬庁舎 3階会議室A	12月15日(火)9:30～11:30	天萬図書館 ☎64 - 3791
手話講座	天萬庁舎 3階会議室A	12月17日(木)19:00～20:00	天萬図書館 ☎64 - 3791
おはなし会	富有まんてんホール	12月20日(日)10:30～11:00	天萬図書館 ☎64 - 3791
法勝寺図書館臨時窓口	プラザ西伯	毎週木曜日・日曜日 10:00～12:00 ※12月27日(日)・31日(木)・ 1月3日(日)はお休みです。	天萬図書館 ☎64 - 3791
製本サークル	プラザ西伯	1月9日(土)9:30～12:00	天萬図書館 ☎64 - 3791
南部町成人式	とっとり花回廊	1月10日(日)13:00～15:30	人権・社会教育課 ☎64 - 3782

毎月1日・15日は「ノーマディアデー」 毎月第3日曜日は「かぞくの日」

◆図書館休館日 12月14日・21日・23日(図書整理日)・28日～1月4日(年末年始休館)



年末年始のごみの収集・直接搬入、し尿汲み取りについて

年末年始のごみの収集、直接搬入、し尿の汲み取りについては下記のとおりとなります。なお、休業前の直接搬入は混雑が予想されますので、早めの対応をお願いします。

施設・会社名	年末収集業務	年始収集業務
クリーンセンター【可燃物収集】	12月29日(火)まで	1月4日(月)から開始
クリーンセンター【可燃物直接搬入】	12月29日(火)まで	1月5日(火)から開始
リサイクルプラザ【不燃物直接搬入】	12月28日(月)まで	1月4日(月)から開始
みつわ衛生社【し尿汲み取り】	12月28日(月)まで	1月5日(火)から開始

【問い合わせ先】 町民生活課(法勝寺庁舎) ☎66 - 3114

法勝寺の再活桜が アクセサリーに生まれ変わる



法勝寺川土手の桜並木は、春には満開の桜で楽しませてくれます。この桜は1950年代に植えられたものが多く、老木化がすすんでいます。南部町では鳥取大学と連携し、樹勢診断をおこなった結果、約35%（152本）の木が衰退傾向にあることが分かりました。町では、この桜並木を維持していくためのメンテナンスを実施し、令和元年度には主に老朽化した木37本を伐採しました。

この伐採した木を活用しようと、日南町の白谷工房に寄木のアクセサリー制作を依頼し、この度イヤリングやブローチなどの「桜シリーズ」が完成しました。大国主命再生復活の神社にちなんで、赤猪岩神社前売店で販売しています。

町長室から

No.42

若者の7割弱は新聞を読まない？

近年若者の活字離れとよく言われます。日本財団が今年行った「18歳の意識調査」（17～19歳1000人調査結果）では、6割は読書が好きだと答えた一方で、3割超は全く読まないという結果でした。この調査で特に注目したいのが新聞購読についてで、67.3%が「読んでいない」と答え、「普段読んでいる」人は32.7%と3分の1を割っており、これは2年前の同調査から15%も読んでいる人が減った結果でした。また読書については59.7%、約6割が好きだと回答し、44.8%は月に1～2冊、6.8%は7冊以上読んでいるという結果に、私は意外に本や電子書籍に触れているな、と感じました。

新聞購読しない若者の多くは、スマートフォンの情報アプリで自分に合ったニュース情報を収集していると思われます。またInstagramやLINEなどを使って、自分が欲しい情報を欲しい時に手にしていることが考えられます。その点、新聞や本は欲しい情報を手軽にとはいきませんが、政治や歴史など多様な価値観を身につける上で読書は大切なたしなみだと思います。特に若い世代には一冊でも多くの本に出会って欲しいと思います。そんな思いを込めて、令和3年5月図書館を核とした複合施設がオープンします。乞うご期待ください。

南部町長 陶山清孝

減塩で元気・長生き・南部っ子!!

まいがな！ 減塩レシピ

今月のメニュー

ブロッコリーとにんじんのおかか和え

一人分 エネルギー 31 kcal 食塩相当量 0.2g



調味料は使わなくても塩昆布とかつお節を混ぜるだけで美味しくなります。

材料 (4人分)

- | | | | |
|---------|-------------|-------|----|
| ・ブロッコリー | 100g (1/2株) | | |
| ・キャベツ | 160g (1/4個) | | |
| ・にんじん | 1/3本 | ・塩こんぶ | 2g |
| ・ごま油 | 小さじ1/2 | ・かつお節 | 5g |

作り方

- ① ブロッコリーは小房にわけて茹でる。
- ② キャベツ、にんじんは短冊切りにし、茹でる。
- ③ ①②と塩昆布、ごま油、かつお節を加えて和える。

タマキクラゲ

■グミかゼリーか?!

城山公園や妙見山など、ちょっとした森を歩くと「なんじゃこりゃ?」と目に入る怪しげな物体。直径約1〜2センチの丸い座布団のような形をしているタマキクラゲです。触るとお菓子のグミのような固さだったり、ゼリーのような柔らかさだったり、こんなにやわらかな弾力もあります。こんな姿でもキノコ



法勝寺
西伯小学校裏山

撮影：桐原真希

の仲間です。枯れた材専属ですが、なぜか細い枝がお好みで、ブナ科とタイアップしています。南部町では、コナラの枝に生えていることが多いようです。いったったか、そのタマキクラゲを何十個も付けている長い枯れ枝が、別の木の横枝に引っかかっている、ちょうど目の高さにぶら下がっていました。そこに夕方の斜光が森を照らし、半透明のプニプニ餅が光を透かして、まるでべっこう飴のような琥珀色のガラスみたいに輝いたので、これはタマキクラゲが新鮮で汚れていないからこそ見られた偶然の風景でした。

■お味噌汁に投入!

タマキクラゲの料理法を検索してみたら、インターネットでいくつも紹介されています。私が調理に挑戦した当時は、手持ちの凶鑑以外では調べるすべがなく、とりあえず味噌汁の具に入れてみました。無味無臭で食感を楽しむ汁の実としてはまずまずだったと記憶しています。

ネットでは他にも、中華スープや大根おろし和えなどの頂き方や、軽く茹でた後に黒蜜などをかけてデザート代わりの一品にというメニューもありました。これもいざ味わってみたいですね。タマキクラゲに限らずですが食用キノコ類は必ず熱を通すことをお忘れなく。

■森のタマちゃん探し

私は、たまたまタマキクラゲを見た季節が、寒い頃合いから早春ばかりだったので、つぎり季節限定のキノコかと思いついていました。しかし様々な記録を確認すると、標高にもよりますが真夏以外は育つようです。町内には、タマゴダケにタマムシにタマミズキにと色々なタマちゃんが見られます。ヤブ蚊が少なくなつた冬の森で、タマキクラゲのタマちゃん探しもぜひ自然を楽しむ一つのアイテムにしたいと思います。

自然観察指導員 桐原真希

祐生出会いの館【緑水湖畔】 ■休館日：毎週火曜日(火曜日祝日は翌日) ■問い合わせ先：☎66-4755

「南部町教育月間協賛企画～我が校の宝展」

令和2年10月31日(土)～12月21日(月)

各学校において、卒業生の姿は教育の成果です。卒業生の活躍は、母校にとって誇りであり、在校生の目指すべきモデルでもあります。

このたび、西部地区各小学校に残されたり、寄贈されたりしている卒業生の作品をお借りして展示しました。この機会に、学校教育について思いを致していただければ幸いです。



神庭白黎 (溝口小学校卒)
《溝口小学校蔵》